**CT・MRI造影剤説明書**

１．造影剤とは

CT・MRI画像を撮像するにあたって、情報量を増やすために画像にコントラストをつける検査薬です。静脈内に注射して使用します。造影剤が血管を介して全身の臓器に分布することで、血管および臓器の状態や、病変部での造影剤の分布がわかり、画像診断上、重要な情報を得ることができます。

２．造影検査による危険性（副作用）について

基本的には副作用の少ないものを用いていますが、全く危険性を無くすことはできません。生じても軽微なものがほとんどですが、以下の副作用を生じる可能性があります。

①即時性副作用　：造影検査中やその直後に生じる副作用

　気分不良、嘔気・嘔吐、かゆみをともなったじんましんなど、軽いものがほとんどです。

　まれに冷汗がでたり息苦しくなったりすることがあります。

非常にまれにショックなどの重篤な状態や、死亡に到ったという報告があります。

②遅発性副作用　：数時間から数日後に現れる副作用

　倦怠感・頭痛・じんま疹などが遅れて現れることがあります。

　MRI造影剤を腎機能が悪い方に使用した場合、非常にまれに腎性全身性線維症（皮膚の腫脹・発赤・　疼痛・硬化、高度の身体機能障害を起こすことがある）を生じる可能性があります。

③そのほか

　造影剤が血管外に漏れて、皮下がはれて痛みを伴うことがあります。

　造影剤注入時に全身に熱感（ぽかぽかする感じ）を伴うことが多いですが、これは正常です。

３．造影検査による副作用発生時について

①即時性副作用

　ただちにスタッフで対応し、最善と考えられる対処をします。

②遅発性副作用

　上記のような症状が出現した場合には、病院（代表番号：0848-62-3113）へお電話ください。時間外や休日の場合には、夜間休日診療所（0848-67-7040）へお電話ください。

③血管外漏出

　漏れが少量であれば、基本的に自然に吸収されていきますが、疼痛や腫張が強い場合には塗布薬や外科的処置を行うことがあります。

三原市医師会病院

**CT・MRI造影剤　問診票　（医師会病院提出用）**

腎機能

採血日　　　　　　　（　　　　　　）年（　　　）月（　　　）日　　※検査予定日より3ヶ月以内

血清クレアチニン　　（　　　　　　）mg/dl

eGFR　　　　　　　 （　　　　　　）ml/min/1.73㎡

問診内容

○今までヨード造影剤で副作用（過敏症）がありましたか　　（　はい　・　いいえ　・　はじめて　）

○妊娠中である可能性はありますか　　　　　　　　　　　　（　はい　・　いいえ　）

○授乳中ですか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　はい　・　いいえ　）

○薬・食べ物のアレルギーはありますか　　　　　　　　　　（　はい　・　いいえ　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→具体的に：

○花粉症・アレルギー性皮鼻炎などアレルギー体質はありますか（　はい　・　いいえ　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→具体的に

○糖尿病で血糖降下薬を服用していますか　　　　　　　　　（　はい　・　いいえ　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→具体的に：

○下記の疾患のうち指摘されたことがあるものがあれば○をつけてください。

（　気管支喘息　・　重篤な甲状腺疾患　・　重篤な腎障害　・　重篤な心疾患　・

重篤な肝障害　・　褐色細胞腫　・　多発性骨髄腫　・　マクログロブリン血症　・　テタニー　）

上記の問診の結果によっては、造影検査を施行できない場合があります。

**同意書**

三原市医師会病院長　殿

　私は主治医よりCT・MRI造影検査について十分な説明を受け、質問する機会を得ました。この説明により予定されている造影検査について理解できましたので、造影検査を受けることに同意いたします。

（　　　　　　）年（　　　）月（　　　）日

本人または代理人　（続柄：　　　　　　）　　　（署名）

CT・MRI造影検査の必要性と副作用について説明し、問診の結果検査可能と判断しました。

　　　（医師名）